

第2回セミナー

さくらスクール

2月11日(木)に小諸市文化センターにて第2回さくらスクールを開催しました。今回は、動物と生活をともにしていくと必ず訪れる『老い』をテーマとして老齢動物の病気や管理について獣医師1名、看護師3名が発表しました。

開催まではいったいどのくらいの皆さまに興味を持ってもらい、参加して頂けるのか不安もありましたが当日は40名近いオーナーに参加していただきました。

発表の合間や終了後の質問コーナーではいろいろな意見や質問をいただくことができ、私たちスタッフにとっても得ることの多いセミナーとなりました。次回のセミナーに向けてより皆様に満足していただけるように準備を進めています。

多くのかたの参加をお待ちしております。



第3回さくらスクール 8月29日(日) 開催決定!

テーマ : 『老い』～第2弾～

詳細については決定次第、発表、連絡いたします。参加申込みは随時受付しております。詳しくはスタッフまで!

～動物も高齢化社会～

近年、動物の寿命は健康意識の高まりにより飛躍的に伸びてきています。少しでも長く動物たちと一緒に過ごすことができる一方で、高齢にもなう病気や介護などさまざまな問題もでてきています。

※犬猫は7歳(大型犬では5歳)を過ぎると『高齢(シニア)』です!

ポイント① 早期発見・早期治療

『病気を見つける』ことが重要です。老化は病気ではありません。よって早期に老化によるものなのか、病気による症状なのかを見極める必要があります。高齢だからと最初からあきらめてしまうと手遅れになる場合もあります。

☆『定期的な健康診断(ドック)』が必要です。(高齢では年2回以上)

ポイント② 日頃からの健康管理

動物の変化に気付いてあげることができるのは飼主だけです。

(チェック項目)

- 体重(体格) 皮膚の状態 目・耳の状態
- 尿・便の状態 食欲 歯(口臭)
- 体温・脈拍(心拍)・呼吸数 行動の変化

☆幸せな老犬老猫生活のためにライフステージに合わせた環境作りをして愛情をもって向き合うことが大切です。



獣医師 内藤政和

さくら通信

《号外》

平成22年 3月発行

発行者

さくら動物病院
新聞編集委員
山崎・内藤

お知らせコーナー

携帯サイトでもさくら動物病院にアクセスしていただけるようになりました!!! 詳しくは……



<http://www.sakura-komoro.jp/>

6月の休診日

1.8.15.22.27.29

午後休診日

3.6.10.13.17.20.24

院長不在日

4.7.18.21.25.28

ホームページ

http://www.sakura-komoro.jp

総論「老い」について》


さくらスクールでは、以下のことを発表しました。

- ・犬の老化現象：足腰・目・耳・しつけ・脳・食から
- ・視力の低下について：嗅覚を鍛えるゲーム
- ・聴力の低下について：ハンドサイン
- ・排泄問題について：オムツとペットシーツ
- ・認知症について：危険回避、脳を活性化させる方法
- ・食について：食への執着心、食欲低下対策
- ・アンチエイジング：老化防止について

最後に、右の詩をご紹介しました。

二人旅とは飼い主さんと愛犬との二人旅です。

「通り直しのできぬ道」であるからこそ、自分らしく、愛犬らしく生きていって欲しいと願っています。



最後まで看取る
人間も犬もみんなが通る老いの道

子犬叱るな
来た道だもの

老犬笑うな
行く道だもの

来た道行く道
二人旅

これから通る 今日道

通り直しのできぬ道

「犬の老いたくしより」

動物看護師 黒崎里美

散歩・運動の介護



今回のさくらスクールでは「散歩・運動の介護」をテーマに以下の内容をお話しさせていただきました。

- * 老齢の散歩の仕方・注意点（症状別に紹介）
- * 介助グッズの紹介
- * お散歩の介助の仕方
- * お散歩前・中の状態チェックの仕方
- * 筋肉低下予防法（マッサージ・ストレッチの仕方）

介護は必要になってからではなく、若い頃からの心を含めての準備がとても大切です。

今回の勉強会で少しでも飼主の皆さんに介護について興味を持ってもらい、実際に愛犬・愛猫の介護に直面した際に今回の内容を思い出していただき、少しでもお役に立てれば嬉しいです

動物看護師 富田郁恵

「老齢動物のためのシャンプーの仕方」

さくらスクールでは「老い」についてということで私は「老齢動物のためのシャンプーの仕方」について、お話しさせていただきました。高齢になると自分でグルーミングや毛づくろいをしなくなってくる子が多いので、家でしてあげることがとても大切になってきます。

そこで家でも簡単に出来る方法を紹介したいと思います。

- ①ぬるま湯でぬらしたタオルで体全体を拭きます。
- ②コンディショナーを被毛にスプレーします。
- ③体全体によくすりこませ十分にブラッシングします。

この方法は水を使わないため、猫や水の嫌いな子にストレスをかけることなくしてあげることができますので、ぜひ試してみてください。

さくらスクールでお話ししたことが、今後皆さまのお役に立てれば嬉しいです。



動物看護師 森泉春香